

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.65
2014年3月

季節の一枚 Ⅱ

「中瀬沼とバッコヤナギ」

中瀬沼展望台のすぐ近くのバッコヤナギの木が、昨年末からの大雪により幹の途中から折れてしまいました。それが3月になって、どの木よりも早くその垂れ下がってしまった枝から一斉に芽吹きが始まりました。ネコヤナギのようなふわふわの毛をまとった芽は春の日差しに反射してキラキラと輝いています。やがて辺りが萌黄色に染まる頃、花を咲かせ、その後綿毛のような種を飛ばします。バッコヤナギの「バッコ」とは「婆っこ」のことだそうです。種の綿毛をお婆さんの白髪に例えての名前ですが、なぜ「爺っこ」ではないのかについては深く詮索するのはよしましょう。裏磐梯にも一歩ずつ春の足音が近づいてきています。

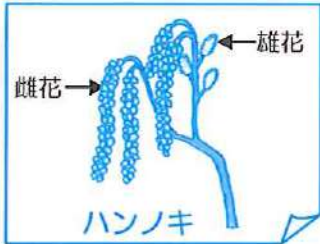
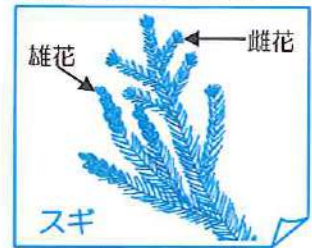
(撮影日 2014年3月9日)

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 旅する植物～春の大冒険～ ■

この冬、気温はほぼ例年通りで正午の最低気温は-7.6℃(2月5日)でした。雪は11月から積もり始め、12月には80cmを越すいきなり的大雪！それからの積雪は3月12日の152cmを最高に全体的には上下なく雪が積もりました。その雪も解け始めるこの季節。みんなが待ちこがれる春…と思いきや、目を腫らしたりティッシュが手放せなかったりと、ツライ人もいるのではないのでしょうか…？ そう、花粉が動きだす季節でもあるのです。

植物はじっと動かず一生を過ごすものと思いがちですが、旅もします。春は雪解け、芽吹き、そして花々が咲きます。花といってもタイプは様々。しかし花を咲かせるのは、皆、“子孫(タネ)をつくる”ためです。そのため花粉がめしべ※めがけて旅をします。(※裸子植物の場合は“胚珠”^{はいしゆ}) 多くの人が花粉でお困りのスギ。



花を見たことがありますか？ スギ、ヒノキ、ハンノキ、カパノキ、マツなどは、雄花と雌花があり花粉と胚珠のある花が別々です。そこで雄花にある花粉は風に乗れ、運命の雌花まで大旅行！血縁が遠い雌花を求め、たくさんの花粉を飛ばします。旅立ちやすいように雄花は枝先につき、花粉の大きさも風に乗れ雌花にとまるように工夫されています。中にはマツの花粉のように浮き袋がついているものも！

我々も心を奪われるほどの美しさや香りをもつ花は、やってきた虫や鳥など動物の身体に花粉を付け運んでもらう作戦です。来てくれた動物には蜜などおいしいものをプレゼントし、香りや色、姿、まとまって多く咲くなどして「ここだよ！」とアピールする商売上手たちです。サクラの仲間もこのタイプ。まだ寒い頃に咲くフクジュソウは自身が温くなることで虫を誘うとか！他にも色々な作戦の植物があり、みんな、いかに花粉を届けるか工夫をこらしています。

植物はタネでも旅します。旅するタネの工夫はどんなものか…花粉やタネにも着目して、身の回りの植物や動物を、よく観察してみてくださいね。



こんな感じのスギの実…さて、どんな作戦なのでしょう？

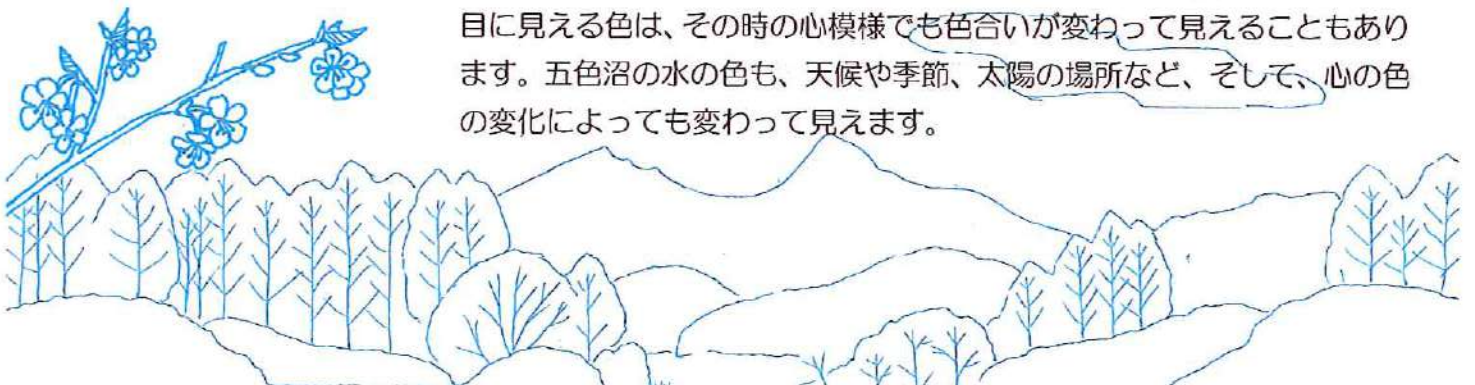
■ 裏磐梯の色 ■

裏磐梯でみられる色のお話です

5種類の色を取り上げてきた「裏磐梯の色」ですが、色は数を数えられるようなものではないと思います。

日本では7色の虹も、7色とされていない国もあります。

目に見える色は、その時の心模様でも色合いが変わって見えることもあります。五色沼の水の色も、天候や季節、太陽の場所など、そして、心の変化によっても変わって見えます。



春の気配を感じられるようになってきたこの時季は、色の変化が大きい時ではないでしょうか？
木々の枝先を見ると、うっすら緑色になっていたり、もう間もなくすると見られる、フクジュソウやマンサク、ミズバショウの黄色も待ち遠しいですね。



気が早いかもしれませんが、夏の深い緑や秋の紅や黄色などを思うと、今から明るい気持ちになりませんか？
あなたの周りの景色は、どんな色が変わっていくのでしょうか！



イラストに色をぬってみてね！ほんものごと自分のイメージはぴったりでしょうか？

日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 30 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「釧路湿原国立公園」

昭和 62 年 7 月 31 日指定 / 陸域面積 28,788ha / 北海道
温根内ビジターセンターの指導員 本藤 泰朗さんよりご紹介いただきます



釧路湿原を知らなくてもそのシンボルであるタンチョウを知っている方は多いはず。明治時代までに乱獲や生息地の減少などにより絶滅したとされていたタンチョウが大正時代に再発見されたのが釧路湿原です。

釧路湿原保護の歴史は昭和 10 年、「釧路丹頂鶴繁殖地」として国の天然記念物に指定されたことに始まり、後にタンチョウの繁殖地としてだけではなく、湿原自体の価値が認められ、昭和 62 年に国内 28 番目、湿原を中心とする初の国立公園に



タンチョウ



ミスゴケ湿原 (夏)

指定されました。

釧路地方独特の霧の多い冷涼な夏の気候が育んだ釧路湿原では、海拔 10m 以下でありながらイソツツジやモウセンゴケなどの高山植物群落が存在し、氷河期の生き残りといわれるキタサンショウウオやエソカオジロトンボが生息するなど、独特の生態系が見られます。

温根内ビジターセンターには湿原内を歩ける木道が整備されていて、誰でも気軽に花や野鳥を観察しながら釧路湿原を楽しむことができます。一周約 3.1 km の木道は、ヨシ・スゲ湿原、ハンノキ林、ミスゴケ湿原、湿原周辺の丘陵地といった、特徴的な湿原植生を見ることができるお得なコースですので、釧路湿原を訪れる際には是非お立ち寄りください。



ワタスゲ

◆釧路湿原国立公園連絡協議会 <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

ようこそ！ビジターセンターへ

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

第 9 回「学生研究発表会」を開催しました！

3 月 16 日(日)に今年で 9 回目となる「学生研究発表会」を開催しました。

今年は福島大学、山形大学、立正大学、文教大学、立教大学の 14 名の学生に磐梯朝日国立公園やその周辺を調査・研究した成果を発表していただきました。今回は口頭発表の他、初めてポスターセッションでの発表もあり、これまでと少し違った雰囲気一般参加者が学生や指導教官の先生に直接質問したり、本物の調査道具や生き物標本にふれたりとお互いにとっても有意義な時間を過ごすことができました。



発表内容は地質、水脈、水質、植物、昆虫、風評被害など様々でした。その中に五色沼湖沼群の水質について驚きの発表がありました。今まで沼が青く見えるのは水中にケイ酸アルミニウムのアロフェンという物質があるからだと思われていましたが、アロフェンではなく、ケイ酸アルミニウムではあるがアロフェンではない物質なのだそうです。

他にも多くの興味深い発表があり、学生や指導教官の先生が調査・研究されて得た新しい成果を知るよい機会になりました。

お知らせ

※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧ください

冬期閉鎖道路再開通予定などのお知らせ

○会津若松裏磐梯線
(松原～細野)

4月25日(金)10:00～
再開通予定

●県道米沢猪苗代線
(旧スカイバレー区間)

4月24日(木)10:00～
再開通予定



◆松原湖畔探勝路

4月21日(月)～
再開通予定

※裏磐梯は4月でも雪が降る日があります。また気温が下がると道路が凍結することもあります。お車で越しの際はご注意ください。



- 県道米沢猪苗代線(旧スカイバレー)
- 磐梯吾妻レークライン …4月18日再開通予定
- 磐梯山ゴールドライン …4月18日再開通予定
- 会津若松裏磐梯線
お問合せ: 喜多方建設事務所 0241-24-3111
- ◆松原湖畔探勝路
お問合せ: 北塩原村商工観光課 0241-32-2511
- ★磐梯吾妻スカイライン …4月8日再開通予定
お問合せ: 吾妻土湯道路管理所 0242-62-3102

ネイチャーグッズショップ

～取り扱い商品公募をスタート～

来館者に帰宅後も自然や国立公園の楽しみを思い出してもらうために、絵葉書などを販売しています。そのような自然解説につながるグッズの委託販売を一般に受付けることにしました。(※その他形式など条件が数項目あります。) 詳細はお問い合わせください。



3月31日まで
「冬のプログラム」
開催しています!

4月1日から
開館時間が変わります!

4月1日～11月30日の開館時間は
午前9:00～午後5:00です
(3月31日までは午後4:00閉館)



ゴールデンウィークは
毎日開館します!

4月27日(日)～5月6日(火)は
休まず開館します
(5月7日(水)は振替休館です)

「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます!

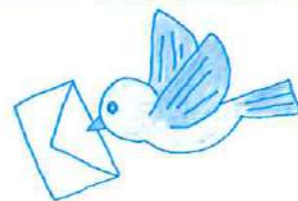
年間6回(奇数月)の発行ごとに更新しますのでどうぞおたのしみに!

■ 総集編 vol.1～3 販売中!!

※各1冊 1,300円(税込) 裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

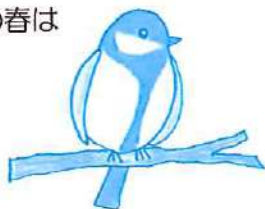
■ 郵送でお届けする定期購読も!

ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して、裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。※4月1日より郵便料金に変更になります。



◇◇◇ビジターセンターの窓から◇◇◇

窓から見える、道路の雪がピチャピチャになってきました。だから余計に長靴が必要な季節なんだなあ。(わっしー) 陽ざしが暖かく長くなってきて春の訪れを感じます。でもそれって冬が去ってゆく…さみしいのは私だけ?(くらら) やっと暖かい日が増えてきました。でも裏磐梯の春はもう少し先かな…(ひろ) ワカサギ釣りシーズンも間もなく終了。今年もたくさん釣りました!!(なが)



磐梯朝日国立公園

入館無料

裏磐梯ビジターセンター

開館時間 夏季(4月～11月)
午前9:00～午後5:00
冬季(12月～3月)
午前9:00～午後4:00
休館日 毎週火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合は開館し翌日休館

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.io>